

会 議 録

名 称	長期計画審議会小委員会（第2回）
日 時	令和元年10月28日（月） 18:30～20:30
会 場	総合庁舎1階D会議室
出席者	[委員] 石渡委員、岡田委員、梶田委員、澤野委員、鈴木委員、根上委員 [事務局] 企画経営部長、長期計画コミュニティ課長、政策企画課長、企画係長2人、職員1人
会議次第	議題 1 新たな長期計画の体系案について 2 施策の関連性を踏まえた政策分野の整理について 3 新たな基本構想に関する中間のまとめ案について 4 最終答申に向けての検討事項 5 今後の長期計画審議会の運営について
配布資料	【説明資料】 1 新たな長期計画の体系案について 2 施策の関連性を踏まえた政策分野の整理について 3 中間答申に向けた政策分野の検討 4 新たな基本構想に関する審議の中間のまとめ（案） 5 中間のまとめに添付する未来動向資料（イメージ） 6 新基本構想の基本目標（大方針）のたたき台 7 今後の長期計画審議会の運営について
会議の結果及び 主要な発言	[会議の結果] ○ 事務局から資料により新たな基本構想に関する審議の中間のまとめ（案）等について説明し、意見交換を行った。 ○ 中間のまとめ（案）について、11月1日までに事務局に意見をいただく。 ○ 中間のまとめ（案）について、11月7日を日途に審議会委員に送付する。 ○ 次回の小委員会は2月3日、4日、5日のうちのいずれかで開催する。 [主要な発言] ○ 基本構想について、期間を定めない場合には理念的なものになるが、期間を20年にする事で将来像をどう描くかという視点につながる。 ○ 基本構想の名称について、東京都では長期ビジョンなどとしているが、このまま基本構想にするのか。 ○ 基本構想は区民とともに掲げた将来像に向かって目指すものだが、基本計画や実施計画は行政計画としての側面がある。 ○ スポーツには、コミュニティ、多文化共生、人権、健康など様々な要素や可能性があると思う。政策を更にまとめていく上で、キーワードをどのように選択するかが重要になってくる。 ○ 子育て分野について、子供の権利主体性を考慮すると「子育て」という表現もあると思うがいかがか。 ○ 教育分野について、施策に教員の資質・能力の向上とあるが、とても重要なことだと思うので、将来像にも入れてはどうか。 ○ 「はじめに」に記載されている用語には注釈が必要だと思うので工夫してほしい

い。また、目黒区ならではの将来課題にどのように対応していくのかという視点をもっと入れてはどうか。

- 目黒区らしさは、区民よりも区外の人の方が感じるのではないか。
- 今後20年先を考えても、目黒区が目指す基本的な方向は、生活する人の視点を大切にすることに変わりはないのではないか。生活する人に配慮した上でのにぎわいの創出ではないかと思う。
- 目黒区は生活する場所だけではなく、集客都市としての魅力もあるまちではないか。
- 「暮らしやすい」という表現より、「住みよい」という表現の方が適切ではないか。
- 目黒区の持つ「人と人とのふれ合い」や「つながり」という強みをうまく表現してほしい。
- 今後もベッドタウンではなく、活力のあるまちであってほしい。
- 教育については、目黒区の強みだともっと打ち出して良いのではないか。子どもの未来をつくるのは教育であると思う。
- 私立中学校に進学しても地域の中で学び、育っていくことが目黒区の良いところではないか。
- 子育て、教育の分野では、個々に応じたという部分が重要と考えている。「誰も取りこぼさない」という視点で取り組んでほしい。

以 上